

第56回 全日本聾教育研究大会 愛知大会

記念講演

演題：「令和の日本型学校教育を実現するために」 講師：岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇 氏

授業研究分科会

| 会場 | NO. | 分科会名 | 授業研究テーマ | 助言者 |
|------|-----|--------|----------------------------|--------------------------|
| 千種校 | 1 | 幼稚部 | 豊かな言語活動を目指した教材づくりとその活用について | 信州大学 教授 庄司 和史 氏 |
| | 2 | 小学部 I | 論理的思考を高める授業づくり | 愛知教育大学 教授 岩田 吉生 氏 |
| 一宮校 | 3 | 小学部 II | 考えたことを伝え合い、学びを深める授業 | 元愛知県立名古屋聾学校長 大胡田 昭二 氏 |
| | 4 | 中学部 | 考えを多面的に深め合う授業 | 岐阜大学 助教 鈴木 祥隆 氏 |
| 名古屋校 | 5 | 高等部本科 | 思考力を育てる授業づくり | 筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏 |
| | 6 | 高等部専攻科 | 思考力やプレゼンテーション能力の向上を図る授業づくり | 帝京平成大学 教授 藤本 裕人 氏 |

研究協議分科会

| NO. | 分科会名 | 分科会テーマ | 助言者 |
|-----|--------------------------|---|--|
| 1 | 早期教育 I (乳幼児) | 乳幼児の豊かな発達を支える保護者や関係機関との協働による早期支援の在り方を考える | 愛知淑徳大学 教授 井脇 貴子 氏 |
| 2 | 早期教育 II (幼稚部) | 遊びや生活の中で、他者と関わりながら生涯にわたる学びの姿勢の基となる言語力や生きる力を育む指導・支援について考える | 信州大学 教授 庄司 和史 氏 |
| 3 | 教科教育 I (小学部) | 他者と協働しながら、生涯にわたる学びの姿勢の基礎となる学力や言語力と生きる力を育むための授業の在り方について考える | 愛知教育大学 教授 岩田 吉生 氏 |
| 4 | 教科教育 II (中学部) | 他者と協働しながら、生涯にわたる学びの姿勢を高め、生きる力を支える確かな学力や言語力を育むための授業の在り方について考える | 東北福祉大学 教授 大西 孝志 氏 |
| 5 | 教科教育 III (高等部) | 他者と協働しながら、生涯にわたる学びの姿勢を高め、社会の変化に対応できる学力や言語力と、自ら学び続ける力を育むための授業の在り方について考える | 筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏 |
| 6 | 自立活動 I (発語発音・聴覚活用) | 言葉で考え、他者と受信や発信のできる力を育むための発語発音指導、聴覚学習、言語力の育成の在り方について考える | 同志社大学 教授 中瀬 浩一 氏 |
| 7 | 自立活動 II (障害認識・コミュニケーション) | 自他ともに尊重できる障害認識の支援と、広く他者と関わり、深く分かり合うためのコミュニケーション力の育成の在り方について考える | 岐阜大学 助教 鈴木 祥隆 氏 |
| 8 | 重複障害教育 | 社会で他者と主体的に関わり合いながら、自分らしく生きる力を育むための授業の在り方について考える | 愛知教育大学 教授 大塚 とよみ 氏 |
| 9 | 寄宿舎教育 | 課題を主体的に見出し、他者との協働により課題解決しながら人々と共に豊かに生活する力を育むための指導・支援の在り方について考える | 元愛知教育大学 教授 小田 侯朗 氏 |
| 10 | キャリア教育 | 充実した社会的自立や自己実現を目指し、自己理解・障害認識を踏まえた指導・支援について考える | 帝京平成大学 教授 藤本 裕人 氏 |
| 11 | 地域連携・センター的機能 | 地域との連携の充実を目指した聾学校としての取組や役割について考える | 元筑波大学 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会 専務理事 松本 末男 氏 |